

共用品推進機構だより 2015年10月23日(26)

目次

(114) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(115) 賛助会員ニュース

▽「おしゃべりに花咲かす／タカラトミー」

(116) 各種催しとお知らせ

▽「『くらしのケアリングデザイン展 2015』開催のお知らせ」

(117) 製品関連記事

▽「小型で軽く、シニア意識／アイリスオーヤマ」

▽「LED光で地震速報 つくし巧芸、大型施設向け」

(118) サービス関連記事

▽「電動車椅子のバスツアー HIS、上高地など3商品」

(119) その他、各種関連記事

▽「洗濯物たたむロボ 画像解析、衣類見分け／セブン・ドリーマーズ・ラボラ
トリーズ、パナソニック、大和ハウス工業」

▽「ロボの補助なしで歩行に成功／カリフォルニア大学」

▽「冷蔵庫連動、声でレシピ／シャープ」

(120) 新刊紹介

▽『医師と教師が発達障害の子どもたちを変化させた
ドクターと教室をつなぐ医教連携の効果 第2巻』

- ▽『感覚統合を生かしたたのしい教室づくり
子どもの力を引き出すアイデアあそび 100』
- ▽『劇団ドキドキわくわく 障がいのある若者たちの発達と演劇活動』
- ▽『花咲き夢咲く桃山の里 地域と歩む障害者福祉』
- ▽『盲導犬の子犬と暮らした 358 日 新米「パピーウォーカー」日記』
- ▽『知的障害者の「親元からの自立」を実現する実践
エピソード記述で導き出す新しい枠組み』
- ▽『大人の ADHD のアセスメントと治療プログラム
当事者の生活に即した心理教育的アプローチ』

(114) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・全国盲学校長会 秋季研究協議会で共用品を紹介
- ・スイスからお客様が来られました

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(115) 賛助会員ニュース

▼「おしゃべりに花咲かす／タカラトミー」

タカラトミーは1日、NTT ドコモと共同開発した小型ロボット「OHaNAS (オハナス)」を発売した。最大の特長は自然な会話だ。一方的に音声を発するだけでなく、話しかける内容などに応じて違った受け答えができる。少子化が進むなか、双方向の会話を楽しみたいという普遍的なニーズに応え、幅広い世代に売り込む。

オハナスは高さ 16cm の小型ロボット。「お話しに花が咲く」という名前の由来の通り、話しかけるとインターネット上の最新情報などに基づいた答えを返す。しりとりなどのゲームや、指定したキーワードを使って俳句を即興で詠んだりすることもできる。

アプリ (応用ソフト) をスマートフォン (スマホ) やタブレット (多機能

携帯端末)に取り込んで使う。アプリを入れた端末を介してクラウド上のシステムとつながり、発言者の意図や文脈を分析しながら会話する。

(日経産業新聞 10月20日15面より抜粋)

(116) 各種催しとお知らせ

▼ 『『くらしのケアリングデザイン展 2015』開催のお知らせ』

人生の後半。その一日一日を、とてもいねいに、でもさりげなく楽しむ生き方。それが「Good Over 50's」です。衣・食・住、くらしを輝かせるための心構えやアイデアやデザイングッズなど。さまざまに揃えた会場で、「50歳からの未来」に夢をふくらませてください。

主催：くらしのケアリングデザイン展実行委員会

(一般社団法人ケアリングデザイン)

会期：2015年10月23日(金)～11月3日(火・祝)

会場：西武池袋本店7階(中央A6)＝インテリアフロア特設会場

東京都豊島区南池袋1-28-1

<https://www.sogo-seibu.jp/ikebukuro/access/>

同時開催：プランテーション for Good Over 50's 特設ショップ4階(中央A6)

問い合わせ：03-5949-2510<直通電話>

https://www.sogo-seibu.jp/ikebukuro/kakutensublist/?article_seq=155307

(117) 製品関連記事

▼ 「小型で軽く、シニア意識／アイリスオーヤマ」

生活用品製造卸のアイリスオーヤマの「ふとん乾燥機カラリエ」が好調だ。小型軽量で使いやすく場所を取らない。毎日のふとん干しに負担を感じるシニアなどに支持されている。

シニア層を意識して、性能を保つためのモーターの大きさとバランスを取

りながら極限まで小型軽量にすることを目指した。取っ手を大きくして持ち運びやすさにも配慮した。

(日経MJ 10月16日5面より抜粋)

▼「LED光で地震速報 つくし巧芸、大型施設向け」

アクリル樹脂製の看板・展示物の製造販売を手掛けるつくし巧芸は、緊急地震速報を発光ダイオード(LED)ライトで知らせる警告灯を開発した。離れたライトとライトが無線通信して信号を伝達し、導入した施設内で一斉に光る。音声の地震速報を流しにくい施設にも導入でき、警告効果も高い利点を訴え、学校法人や病院に提案する。

ライトは長さ36cm、幅10cmで、緊急地震速報が発動すると緑色と赤色の光が交互に点滅する。本体は約1cmと薄く約465gと軽いので目立たず、様々なデザインの建物に溶け込むという。

(日経産業新聞 10月20日6面より抜粋)

(118) サービス関連記事

▼「電動車椅子のバスツアー HIS、上高地など3商品」

旅行大手のエイチ・アイ・エス(HIS)は、電動車椅子「WHILL(ウィル)」を利用した国内バスツアーを発売すると発表した。ウィルは360度の回転がしやすいため利便性が高い。

ウィルを使った国内バスツアーは初めてといい、高齢者や体が不自由な人に旅行を楽しんでもらう。

ツアーは3種類用意。11月2日に出発し長野県の上高地に宿泊する2日間の商品のほか、同月19日から3日間で静岡県伊豆を回る商品もある。各ツアーの先着4人はウィルを無料で使え、貸し出しは1万5000円。

ウィルは四輪駆動で7.5センチメートルの段差を乗り越えられる。砂利道や芝生も走行でき、最近では大型商業施設などでも導入されている。

(日経産業新聞 10月12日9面より抜粋)

(119) その他、各種関連記事

▼「洗濯物たたむロボ 画像解析、衣類見分け／セブン・ドリーマーズ・ラボラトリーズ、パナソニック、大和ハウス工業」

航空宇宙技術を活用した製品の設計や開発を手がけるセブン・ドリーマーズ・ラボラトリーズとパナソニック、大和ハウス工業の3社は洗濯物を自動で折りたたむロボットを共同で開発すると発表した。試作品をこのほど公開し、2016年度中に予約販売を始める。

ロボットの名称は「laundroid (ランドロイド)」。画像解析技術を使って衣類の形状などを認識し、シャツやズボンなどの洗濯物を自動でたたむことができる。パナソニックの洗濯乾燥機の技術と、大和ハウス工業の住宅事業や医療、介護施設のノウハウを融合した。

洗濯物を自動でたたむロボットの開発は世界初という。19年には洗濯、乾燥から折り畳みまでできる全自動製品の販売を目指す。

(日経産業新聞 10月9日6面より抜粋)

▼「ロボの補助なしで歩行に成功／カリフォルニア大学」

脊髄損傷で5年間、下肢(両足)がまひしていた男性が、自らの足で歩いた。BMI (Brain Machine Interface) 技術によるそんな成果を、米カリフォルニア大学アーバイン校の研究グループが発表した。患者から非侵襲で取り出した脳波をコンピューター処理し、その信号を脊髄を経由せずに足の筋肉に直接与えることで可能にした。

今回の技術はロボットによる補助を必要としない、患者自身の足による歩行を可能にした点が画期的だ。

(日経産業新聞 10月12日11面より抜粋)

▼「冷蔵庫連動、声でレシピ／シャープ」

家電業界であらゆるモノをネットでつなぐ「IoT」の競争が始まった。

シャープがシーテックで披露したのは音声対話できるオープンレンジと冷蔵庫。担当者がレンジの「お話ボタン」を押して話しかけると、レンジが自動で音声を認識し、レシピをオープンや連携するスマートフォン(スマホ)のアプリに映す。

シャープが打ち出したのは「AIoT (モノの人工知能化)」。IoTとAIを組み

合わせた造語だ。対話をクラウド上で分析し、使う人に適した最適なサービスを開発する。

(日経産業新聞 10月15日1面、7面より抜粋)

(120) 新刊紹介

▼『医師と教師が発達障害の子どもたちを変化させた ドクターと教室をつなぐ医教連携の効果 第2巻』

発達障害の子どもへの対応を研究している教育研究団体「TOSS」。そのメンバーである教師たちが、発達障害に関する日本の第一人者のドクターとの研究会の事例報告から学び、自分の教室で実践し、効果を検証した報告。

監修：宮尾益知（みやお・ますとも）

企画：向山洋一（むこうやま・よういち）

発行：学芸みらい社

本体価格：2000円（税別）

ISBN：978-4-905374-86-2

▼『感覚統合を生かしたたのしい教室づくり 子どもの力を引き出すアイデアあそび100』

特別支援学級や通級指導教室ならではの活動、自立活動の内容ごとに、子どもが楽しく活動できるような感覚統合の遊びのアイデアをイラストと写真で紹介します。家庭でも楽しむことができる遊びが満載。

著：佐藤和美（さとう・かずみ）

発行：かもがわ出版

本体価格：2100円（税別）

ISBN：978-4-7803-0781-8

▼『劇団ドキドキわくわく 障がいのある若者たちの発達と演劇活動』

10年前から、岐阜市とその近郊で学び・生活する障がいのある若者たちとともに演劇を創ってきた著者たちが、演劇という活動が、彼らをどう変えることができたのかをまとめる。演劇シナリオも収録。

編著：土岐邦彦（とき・くにひこ）

著：渡辺武子（わたなべ・たけこ）

発行：群青社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-434-20921-5

▼『花咲き夢咲く桃山の里 地域と歩む障害者福祉』

京都府北部の小さな田舎町にある「桃山の里」。どんなに障害が重いなかま（利用者）とも正直に向きあい、うれしいことや苦しいこと、怖いと感じたことも職員で共有する息の長い取り組みを紹介する。

編著：あみの福祉会

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-86342-170-7

▼『盲導犬の子犬と暮らした 358 日 新米「パピーウォーカー」日記』

赤い糸で結ばれた、たった 1 年の家族。盲導犬候補の子犬を約 1 年間、家族の一員として迎えるボランティア、パピーウォーカーになった著者が、盲導犬候補のやんちゃ坊主「ヤン」と暮らした日々を、写真とともに綴る。

著：山口花（やまぐち・はな）

発行：KADOKAWA

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-04-601293-7

▼『知的障害者の「親元からの自立」を実現する実践

エピソード記述で導き出す新しい枠組み』

「親がみるべき」などの社会規範に縛られて、「自立は無理」と思い込まされてきた知的障害者とその親たち。本人と家族が互いに「主体的に生きる自立した大人」と認めあえる社会の実現に向けた方途を考える。

著：森口弘美（もりぐち・ひろみ）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：5000 円（税別）

ISBN：978-4-623-07459-4

▼ 『大人の ADHD のアセスメントと治療プログラム』

当事者の生活に即した心理教育的アプローチ』

ADHD の成人のアセスメントおよび診断段階から中核症状、関連のある問題の治療まで、総合的な心理学的診療指針を示したマニュアル。認知行動的技法や動機づけ面接技法を使用した診療アプローチを事例と共に解説する。

著：スーザン・ヤング ジェシカ・ブランナム

発行：明石書店

本体価格：3800 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4245-0

(編集後記)

先週、都内の小学校で共用品授業を行いました。本日、これまで学習してきたことと、その時の共用品授業を基にした発表会が開かれました。

最近、共用品の勉強をした後に自分達の考えをまとめて発表する機会に招かれることがあり、学習したことをどのように理解しているかを知ることができるので、私の方が勉強させてもらっています。またこの様子はブログでもご紹介したいと思います。(森川美和)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>